

2026年度 多摩美術大学 美術学部 学生募集要項

総合型選抜

- 日本画
- 版画
- 彫刻
- 工芸
- テキスタイルデザイン
- メディア芸術
- 情報デザイン
- 演劇舞踊
- 劇場美術デザイン

入学試験に関する問い合わせ先

〒192-0394 東京都八王子市鍵水2-1723 多摩美術大学教務部入試課

問い合わせフォーム：<https://www.tamabi.ac.jp./contact/nyushi/>

受付時間 9：00～17：00（日曜・祝日・休暇期間中を除く）

目次

入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）	02
入試コンセプト	02
募集人員	03
出願資格	03
受験上の配慮について	04
出願期間	05
出願から合格発表までの流れ	05
出願書類	08
出願時における提出物（出願時に同封して郵送）	09
各学科専攻ごとの出願書類・送付方法	10
受験上の注意	11
総合型選抜カレンダー	12
学科・専攻別試験内容／絵画学科日本画専攻	13
学科・専攻別試験内容／絵画学科版画専攻	15
学科・専攻別試験内容／彫刻学科	17
学科・専攻別試験内容／工芸学科	19
学科・専攻別試験内容／生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻	21
学科・専攻別試験内容／情報デザイン学科（メディア芸術コース）	23
学科・専攻別試験内容／情報デザイン学科（情報デザインコース）	25
学科・専攻別試験内容／演劇舞踊デザイン学科（演劇舞踊コース）	27
学科・専攻別試験内容／演劇舞踊デザイン学科（劇場美術デザインコース）	29
入学手続期限	31
学費	31
減免措置について	32
入学前プログラム	32
入学	32
おことわり	32
個人情報の取り扱いについて	32
入学試験会場	33
各種奨学金制度	33

出願用所定用紙

履歴書	35
志望理由書	36
誓約書	38
提出物作成自己証明書	39
在留資格証貼付用紙	45

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

人間が持つ創造性とは、未来を切り拓いていく力です。さまざまな表現のかたち、さまざまな生活のかたち、さまざまな社会のかたちを創造していく力です。

多摩美術大学は、大学の理念である「自由と意力」に共鳴し、自らの持つ創造性を、芸術を通して実現していこうと考えてくださる皆さんを、世界から幅広く、積極的に受け入れていきたいと考えています。

芸術に関心を持ち、芸術を志す人であればどなたでも、歓迎します。人間にとっての創造性とは、誰もが持ち、誰もが伸ばしていける力であると信じているからです。そうした皆さんとともに、人間の持つ未知なる力を開拓し、開花させていきたいと願っています。

多摩美術大学が育んでいきたいのは、なによりも、皆さんが潜在的に持っている表現者としての可能性です。それらは、三つの項目に集約されます。

「観察する力と思考する力」、「構想する力と実行する力」、「創造する力と表現する力」。

より具体的に述べれば、自らを批判的に反省し主体的かつ積極的な行動がとれること、公共性と協調性を学び責任感を持って課された仕事をやり遂げられること、異なった文化、他者とのコミュニケーションを学び、未来を創出できることです。

多摩美術大学は、皆さんが持つ表現者としての可能性をともに考え、その実現に協力し、強く支援することを約束します。

高等学校の教育課程を学んだ人、もしくはそれに準ずる資格を持った人であれば誰もが、多摩美術大学の入学試験を受験することができます。試験では、与えられた課題を解決するだけでなく、そこから新たな主題を発見できるかどうかを、多様な試験の方法を用いて評価します。その柱となるのは、基礎的なコミュニケーション力、創造的な表現力です。現在持っている表現の能力を計るものだけではなく、未来にひらかれた未知なる表現の可能性を求めます。

入試コンセプト

本学は、変化の度合いを速めつつある社会環境にあって、文化芸術のさまざまな分野、さまざまな局面で活躍しうるバイタリティーに富んだ多様な人材を育成することを重要なミッションとして掲げてきました。

入学者の選抜にあたっても、評価の尺度の多元性を重視していますが、本学が実施する総合型選抜はその意図をさらに先へと進めるものです。

この入学試験にあっては当然ながら一律の能力ではなく、それぞれの分野で望まれる資質、そこで学ぶ積極的な意欲、将来への明確な姿勢などが総合的に問われることになります。

募集人員

学科・専攻・コース		募集人員
絵画学科	日本画専攻	7名
	版画専攻	10名
彫刻学科		6名
工芸学科		20名
生産デザイン学科	テキスタイルデザイン専攻	10名
情報デザイン学科	メディア芸術コース	20名
	情報デザインコース	14名
演劇舞踊デザイン学科	演劇舞踊コース	18名
	劇場美術デザインコース	18名

※総合型選抜の合格者については、選考結果によって募集人員に満たない場合があります。

※上記以外の学科・専攻については、「学校推薦型選抜」を行っています。

出願資格

次の「1」「2」のいずれかに該当する者。

1. 日本国籍を有する者（日本国の永住許可を得ている者または特別永住者を含む）で、本入学試験に合格した場合に入学を確約できる、以下の①～⑧のいずれかに該当する者、または2026年3月31日までにこれに該当する見込の者。
2. 日本国籍を有しない者および日本国の永住許可（特別永住者を含む）を得ていない者で、本入学試験に合格した場合に入学を確約できる、以下の①～⑧（③⑥を除く）のいずれかに該当する者または2026年3月31日までにこれに該当する見込の者。

- ① 日本における高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）を卒業した者。
- ② 日本における通常の課程による12年の学校教育を修了した者。
- ③ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者。
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧課程による大学入学資格検定に合格した者を含む）。
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査*により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者。

※04ページ「個別の出願資格審査」参照。

- ・総合型選抜と外国人留学生選抜、帰国生選抜の出願資格を有する者はいずれかの入学試験のみ出願できる。

個別の出願資格審査

出願資格⑧により出願する者については個別の出願資格審査を行います。

1. 個別の出願資格審査の対象者（多摩美術大学へ学校教育法施行規則第150条第7号により個別の入学資格の認定を受けようとする者）

・次の（a）、（b）いずれかに該当する者。

（a）高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者または卒業見込の者

（b）各種の学校等での学習歴が、高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者

※日本の高等学校を卒業した者または卒業見込の者は該当しません。

2. 申請期限

2025年9月17日（水）

個別出願資格審査における申請書類および申請方法の詳細については、本学WEBサイトを参照してください。

<https://www.tamabi.ac.jp/admissions/>

受験上の配慮について

身体機能に障がいがあるなど、受験上および修学上特別な配慮が必要な場合は、出願に先立ち、2025年10月6日（月）17:00までに必ず教務部入試課（問い合わせフォーム：<https://www.tamabi.ac.jp/contact/nyushi/>）まで問い合わせてください。学生生活に相当程度の困難が予想される場合は事前相談を行いますので、前記期日以前に問い合わせてください。入学試験直前に骨折するなど、緊急に受験上特別な配慮が必要となった場合についても、至急、上記問い合わせ先までご連絡ください。

なお、障がい学生支援については以下のURLにてご案内しています。本学入学試験にあたっては「障がいのある受験生の方へ」項目にある「障がいのある受験生への支援の流れ」をご確認ください。

<https://www.tamabi.ac.jp/campus-life/supports/disability-support/>

出願期間

- ・「WEB出願登録」、「入学検定料支払」……2025年11月1日(土)13:00から11月7日(金)18:00まで
- ・「出願書類の郵送」……2025年11月1日(土)から11月7日(金)消印有効

※海外から郵送の場合は11月7日(金) 必着

出願から合格発表までの流れ

- 出願する入試種別や専攻に間違いがないよう注意してください。
- 出願書類に不備・虚偽の記載があった場合は出願が認められません。また、入学取消しや退学となる場合があります。
- 検定料支払の完了後に出願を取り消す・変更することはできません。
- 一度受領した出願書類および検定料はいかなる理由においても返還しません。
- 出願を辞退する場合は、必ず入試課 (nyushi@tamabi.ac.jp) に連絡してください。

出願の手順



STEP 1... 出願登録

WEB出願ページ (<https://www.tamabi.ac.jp/admissions/apply/>) にアクセスする。
「はじめて出願する方 WEB出願サイト」を選択する。



入試種別と専攻を選択

出願する入試種別や専攻に間違いがないように注意してください。



個人情報を入力、顔写真のアップロード

すべての項目を入力後、出願登録内容の確認画面が表示されますので登録内容に間違いがないか確認してください。

※出願登録を完了すると登録内容の変更や取り消しはできません。

※登録内容に誤りがある場合は検定料を支払う前に最初から出願登録をやり直してください。

《顔写真について》

画像はVGA (640×480pixel) サイズ以上でJPEG形式にしてください。画像に加工を施したものは認めません。出願写真として適切でないと判断された場合は、再提出になることがあります。期限内に再提出を行わない場合、出願を受理しません。



出願期間
2025 年
11月1日
～
11月7日

出願期間
2025 年
11月1日
～
11月7日

STEP 2…検定料の支払い

検定料（35,000円）の支払い

登録内容の確認後、検定料支払方法を選択してください。

コンビニ、金融機関ATM【Pay-easy】、クレジットカードいずれかの支払方法を選択してください。



クレジットカード	VISA、Mastercard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club
コンビニ	セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、デイリーヤマザキ、セイコーマート
金融機関ATM	Pay-easyが利用可能なATM

検定料の支払いには手数料990円が別途必要です。

※検定料の支払いが完了すると出願登録が確定されます。

※検定料の支払い後に出願登録した入試種別や専攻の変更や取り消しはできません。

※出願期間内に検定料の支払いができなかった場合、出願は無効となります。

出願登録と検定料の支払いは出願期間最終日の18:00までに完了してください。

STEP 3…出願書類の郵送 & 提出

志願票と宛名ラベルをA4サイズで印刷して出願書類を大学へ送付する



- ・検定料支払後、マイページで志願票と宛名ラベルがダウンロードできるようになります。
- ・そのほかの出願書類や作品など提出物の提出方法はP.08～10を確認してください。

出願書類の郵送期限

日本国内から郵送	2025年11月1～7日（消印有効） 市販の角2サイズ封筒に宛名ラベルを貼付して志願票とそのほかの出願書類を同封して、簡易書留・速達で郵送してください。
日本国外から郵送	2025年11月1～7日（出願期間内に必着） DHL、FedEx、EMS等で志願票と宛名ラベルを同封して発送してください。 Address : Tama Art University Admissions Section 2-1723 Yarimizu, Hachioji, Tokyo, 192-0394 Japan

※出願内容に不備がある場合、出願登録した電話番号またはメールアドレスに連絡します。

※出願書類の到着や不備の有無を確認するためのお問い合わせには対応できません。

出 願 完 了

出願登録後～合格発表

受験票印刷

2025 年
11 月 14 日
13 : 00
}

マイページにログインし受験票と試験当日に関する案内文を確認する



試験場や集合時間などの詳細はマイページの案内文を確認してください。

入学試験日

2025 年
11 月 22 日
}

受験票は必ず印刷して持参してください。

試験当日の実施情報は<https://www.tamabi.ac.jp/admissions/exam-info/>をご覧ください。
天候や公共交通機関の運行状況等により試験開始時間に変更がある場合はこちらでお知らせします。

合格発表

2025 年
12 月 1 日
13 : 00
}

合否案内サービス (<https://www.gouhi.com/tamabi/>) にアクセスし受験番号、生年月日を入力して合否確認してください。期間外は見ることができません。
合格者には「合格通知書」を発送します。合格通知書をもって正式な合格とします。
電話やメールでの合否確認には一切応じません。

入学手続き

2025 年
12 月 1 日
}

入学手続要項に従って入学手続きを行ってください。

なお、入学手続要項は合格者に対してのみ合格発表時に別途案内いたします。

出願書類

次の中で該当する全ての書類を表面に宛名ラベル（出願登録後に各自で印刷）を貼った封筒等で一括郵送してください。

送付についてはP.10ページを参照してください。

〔注意〕志願者と出願書類等の姓または名が異なる場合は、同一人物であることを証明する書類（公的機関が発行）を提出してください。

提出書類		対 象	備 考
①志願票		全員	・WEB出願のマイページから印刷してください。
②履歴書[P.35]		全員	・所定用紙に直筆で記入してください。
③志望理由書[P.36]		全員	・所定用紙に直筆で記入してください。
④誓約書[P.38]		全員	・所定用紙に直筆で記入してください。
⑤出願資格を証明する書類（出身学校の証明書等）	出身高等学校の調査書（1通）	・高等学校（中等教育学校含む）卒業（見込）者 ・高等専門学校3年修了（見込）者 ・文部科学大臣が認定した在外教育施設の当該課程を修了した者	・出願時より3ヶ月以内に発行されたもの。 ・出身学校長が作成したもの（開封無効） ※調査書の保管期間を経過した場合や廃校などにより調査書が提出できない場合は卒業証明書・成績証明書を提出してください。 ※成績証明書の提出が出来ない場合は出身学校にその旨の証明書を作成してもらい提出してください。
	修了（見込）証明書・成績証明書	外国における12年の教育課程修了（見込）者	・2025年4月以降に発行されたもの。 ・日本語または英語で記載されたもの。 その他の言語の場合は公的機関や日本語学校で認証を受けた日本語または英語の翻訳文を提出。 ・日本と外国の両方の高等学校に在籍したことがある場合は日本の高等学校在学中の調査書も提出してください。 〔注意〕卒業時に証明書が1通しか発行されず、出身学校から証明書の再発行ができない場合…… ①出願時には証明書のコピーを提出してください。 ②出願書類に「証明書の原本を試験当日に提出する」と書いたメモを同封してください。 ③試験当日に手元にある証明書の原本を入試課に提出してください（証明書は確認後、返却します）
	合格成績証明書	高等学校卒業程度認定試験（または大学入学資格検定）合格者	・合格見込者は合格見込成績証明書を提出。 ・合格証明書ではありません。
	合格証明書・成績証明書など	出願資格のうち文部科学大臣が指定した者	・提出書類は出願資格とともに事前に教務部入試課に確認してください。
	出願資格認定書（写）	本学において個別の入学資格審査により出願が認められた者	・申請期限までに出席資格審査を受けてください。
⑥提出物作成自己証明書[P.39～]		・絵画学科日本画専攻 ・絵画学科版画専攻 ・彫刻学科 ・工芸学科 ・生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻〔選択A〕 ・演劇舞踊デザイン学科劇場美術デザインコース	・提出物（出願時）や面接試験に提出・持参する作品等の内容を記載してください。 ・提出された作品等が自身の作成したものではないことが判明した場合には合格後であっても入学取消等の処分を受けることがあります。
⑦在留資格証貼付用紙[P.44]		外国籍の者（永住者または特別永住者を含む）	・パスポートの顔写真ページのコピーを貼付してください。 〔日本国内に在留の者〕 ・在留カード（特別永住者は特別永住者証明書）の表裏両面のコピーを貼付してください。 ・裏面に何も記載がない場合でも必ず表裏両面のコピーを貼付してください。

出願時における提出物（出願書類に同封して送付）

- ・出願時における提出物には必ず本学所定の「提出物作成自己証明書（P.39～）」を出願書類に同封してください。
- ・面接試験時に提出・持参する作品がある学科・専攻はその情報も併せて記入してください（P.12参照）。
- ・出願時における提出物は、事由のいかんを問わず返却しません。ただし、版画専攻のポートフォリオのみ返却します。
- ・送付方法はP.10を参照してください。
- ・オンラインポートフォリオ提出フォームの提出期限は、WEB出願の締切日時と同一です。

〔注意〕「出願時における提出物」の他に学科・専攻・コースによっては面接試験時に作品等を提出・持参する必要があります。

詳細は「学科・専攻別試験内容」（P.13～30）の「試験科目・持参するもの」で確認してください。

〔注意〕志願者と出願書類等の姓または名が異なる場合は、同一人物であることを証明する書類（公的機関が発行）を提出してください。

学科・専攻・コース	提出物	備 考
絵画学科版画専攻	ポートフォリオ、および作品写真(5点)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオは、これまでに制作した作品の写真、活動記録などをA4サイズのファイルにまとめたもの。 ・作品写真は、持参する提出作品から5点を選び、A4にプリントしたものを提出してください。(A4用紙に1作品、氏名・作品タイトルを記載してください) ・作品写真は返却しません。 ・これらの作品資料は面接時の資料として使用します。
彫刻学科	ポートフォリオ1冊	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの作品や活動記録などをまとめたもの。 ・動画作品がある場合は、動画共有サイト等にアップロードのうえ、視聴可能なURLのQRコードを添付してください。 ・A3サイズ以内のファイルにまとめて提出してください。 ・作品資料は面接時の資料として使用します。
情報デザイン学科 メディア芸術コース [選択A]	オンラインポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインポートフォリオとは、インターネットで閲覧できる形式のポートフォリオのことです。 ・メディア・アート、映像、アニメーション、写真、デジタル・エンターテインメントなど、メディアを使った領域の作品を、WEB形式で閲覧できるような形にして、面接時のプレゼンテーション用にまとめてください。 ・オンラインポートフォリオのURLを下記提出フォームから提出してください。URL提出フォーム：https://form.run/@50-idd-art
情報デザイン学科 情報デザインコース	オンラインポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインポートフォリオとは、インターネットで閲覧できる形式のポートフォリオのことです。 ・デッサンや写真、イラスト、アニメーション、動画、インタラクティブなコンテンツ、アプリ、プログラムなど、今までに制作した作品をオンライン上で閲覧可能な形でまとめてください。 ・オンラインポートフォリオの形式や内容は面接時持参の「作品およびポートフォリオ」と違うものでも可とします。 ・11月8日(土)～11月23日(日)の期間中に閲覧できるオンラインポートフォリオのURLと、必要情報を下記提出フォームから提出してください。 URL提出フォーム：https://form.run/@50-idd-design
演劇舞踊デザイン学科 劇場美術デザインコース	ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの作品をまとめたもの(サイズ・点数は自由)。 ・面接時に使用します。

各学科専攻ごとの出願書類・送付方法

学科・専攻・コース	出願書類						資料・事前課題・ポートフォリオ等	送付する封筒等	宛名ラベル (出願登録後に 各自で印刷)
	志願票	履歴書	志望理由書	誓約書	調査書	提出物作成 自己証明書			
絵画学科 日本画専攻	○	○	○	○	○	○	→	任意の角2サイズ以上の封筒※	出願書類等を入れた封筒等表面に貼付
絵画学科 版画専攻	○	○	○	○	○	○	+ ●ポートフォリオ・作品写真 →		
彫刻学科	○	○	○	○	○	○	+ ●ポートフォリオ →		
工芸学科	○	○	○	○	○	○	→		
生産デザイン学科 テキスタイルデザイン専攻 選択A	○	○	○	○	○	○	→		
生産デザイン学科 テキスタイルデザイン専攻 選択B	○	○	○	○	○	—	→		
情報デザイン学科 (メディア芸術コース) 選択A	○	○	○	○	○	—	+ ●オンラインポートフォリオ(URL情報) URL提出フォーム https://form.run/@50-idd-art		
情報デザイン学科 (メディア芸術コース) 選択B	○	○	○	○	○	—	→		
情報デザイン学科 (情報デザインコース)	○	○	○	○	○	—	+ ●オンラインポートフォリオ(URL情報) URL提出フォーム https://form.run/@50-idd-design		
演劇舞踊デザイン学科 (演劇舞踊コース)	○	○	○	○	○	—	→		
演劇舞踊デザイン学科 (劇場美術デザインコース)	○	○	○	○	○	○	+ ●ポートフォリオ →		

※資料・事前課題・ポートフォリオ等を同封する際は、マチ付封筒やゆうパック・袋（小）等、頑丈な封筒を使用してください。

受験上の注意

1. 必ず試験開始30分前までに入構してください。
2. 試験場には、試験開始時刻より30分前から入場できます。また、試験前に注意事項の説明があります。
3. 試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。
4. 遅刻した場合は、いかなる理由であっても試験時間は延長しません。
5. 1科目でも試験を受けないと失格となり、以降の試験は受けられません。
6. 受験票を持参しないと試験場に入場できません。受験票を忘れた場合は係員に申し出てください。
7. 試験が午後にわたる場合は昼食を持参してください。キャンパス内で買うことはできません。
また、キャンパス外に出ることはできません。
8. 実技試験の用紙等は大学で用意します。
9. 用具などの貸し借り、共用は認めません。
10. 持参用具の使い方は自由ですが、他の受験生に迷惑をかける恐れのある行為を禁じます。
11. 答案用紙の指定欄以外に本人の氏名や受験番号等を記載しないでください。
12. 各自の試験場および指定された場所以外には立ち入らないでください。
13. 試験場内には時計はありません。必要な方は各自持参してください。ただし、携帯電話やスマートウォッチおよび計算・辞書・通信・撮影・アラーム機能などがある時計の使用は禁止します。また、秒針音の大きな時計は使用できない場合があります。
14. 試験棟内および試験中は、通信機器（携帯電話・スマートフォン・PC・スマートウォッチ等）を使用することはできません。違反した場合は不正行為とみなし、ただちに退場を命じ、失格（不合格）とします。
15. 受験生以外は入構できません。
16. キャンパス内に自動車等車両の乗り入れはできません。
17. 感染症（学校保健安全法で出席の停止が定められているインフルエンザ、麻疹（はしか）、新型コロナウイルス感染症等）に罹患した場合、他の受験生や試験監督者等にひろがる恐れがありますので、原則として受験できません。
18. 天候や公共交通機関の乱れにより、試験の開始や終了の時刻、試験時間を調整することがあります。
19. 本要項に変更があった場合は、本学WEBサイトや試験当日に指示します。
20. 志願者数が多い場合は、11月24日（月）にも試験を実施します。その場合は本学WEBサイトにて事前に指示します。

総合型選抜カレンダー

学科・専攻・コース	出願期間	出願時における提出物	試験会場	選 択	試験日			試験予備日	合格発表
					11/22(土)	11/23(日)	面接試験に提出・持参する作品	11/24(月)	
絵画学科 日本画専攻	出願期間 11月1日(土)から11月7日(金)まで(消印有効)		八王子キャンパス		水彩(人物) 10:00～17:00	面接 時間は試験初日に指示	← 絵画作品 ポートフォリオ	※志願者数が多い場合は、11月24日(月)にも試験を実施する場合があります。 その場合は本学WEBサイトにて事前に指示します。	合格発表 12月1日(月)13時00分
絵画学科 版画専攻		ポート フォリオ 作品写真		A	小論文 10:00～11:30 色彩表現 13:00～17:00	面接 時間は試験初日に指示	← 作品		
				B	小論文 10:00～11:30 コラージュ「写真」 13:00～17:00				
彫刻学科		ポート フォリオ			・小論文 10:00～11:30 ・小論文 10:00～11:30 立体造形 13:00～16:00 どちらかを所定用紙p.41で選択	面接 時間は試験初日に指示			
工芸学科				A	小論文 10:00～11:30 鉛筆デッサン 13:00～17:00	面接 時間は試験初日に指示	← ポートフォリオ		
				B	小論文 10:00～11:30 立体造形13:00～17:00				
生産デザイン学科 テキスタイルデザイン専攻				A	小論文A(テキスタイルデザイン専攻専門試験) 10:00～11:00 デッサン・色彩表現 12:00～17:00	面接 時間は試験初日に指示	← 作品		
				B	小論文B(テキスタイルデザイン専攻専門試験) 12:00～13:30	プレゼンテーション面接 時間は試験初日に指示			
情報デザイン学科 (メディア芸術コース)		オンライン ポートフォリオ のURL		A		面接 時間は受験票印刷 開始日に指示	← オンライン ポートフォリオ		
				B	デジタル視覚表現 10:00～16:00	面接 時間は試験初日に指示			
情報デザイン学科 (情報デザインコース)	オンライン ポートフォリオ のURL			面接 10:00～	← 作品 あるいは ポートフォリオ				
演劇舞踊デザイン学科 (演劇舞踊コース)		上野毛キャンパス		小論文 10:00～11:30 身体表現 13:00～17:00	面接 時間は試験初日に指示				
演劇舞踊デザイン学科 (劇場美術デザインコース)	ポート フォリオ			鉛筆デッサン 13:00～16:00	面接 時間は試験初日に指示	← 作品			

学科・専攻の特色

日本の豊かな風土と文化に培われ、独自の美意識を育んできた日本画。同時に、それは伝統の継承にとどまらず、新たな表現の地平を切り開く奥深さも備えています。とくに本学の日本画専攻は、建学以来現在まで自由な発想をもち、自ら新しく芸術を切り開く意力に満ちた気風があり、これまでに一線で活躍する作家を多く輩出してきました。現在でも多様で豊かな個性をもった卒業生が、日本画の領域にとどまらずさまざまな分野で存在感を示しています。

選抜方針

自由と意欲に満ち創造力豊かな人材を発掘するため、総合型選抜による入学試験を設けています。多様な個性、豊かな感性を持ち、絵画と本気で向き合う人材を望んでいます。

総合型選抜では、専門試験「水彩（人物）」、「面接」試験、提出「作品」、「ポートフォリオ」によって総合的に審査します。とくに提出「作品」では、技術のみならず、自らの個性が息づいているような絵画作品を求めます。「ポートフォリオ」は普段の創作活動がわかるように作品の写真または現物、画歴等をファイルしてください。

高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

個性的で自由闊達な創造性を育てるためにも、作品制作を通して基礎的な絵画力、デッサン力を身につけてほしいと思います。

その他、さまざまな美術に触れ、いろいろなものに感動できる新鮮な感性を育ててください。

学科・専攻別試験内容／絵画学科日本画専攻

入学試験日程・科目

日時	試験科目	時間
11月22日（土）	水彩（人物）	10:00～17:00 [6時間]
11月23日（日）	面接	時間は試験初日に指示

11月22日（土）の12:30～13:30は昼食休み時間。必ず昼食を持参してください。

試験科目・持参するもの

●水彩（人物）———水彩用具一式、鉛筆、消具、ナイフ、フィクサティブ（定着液）、受験番号・氏名記入用ボールペン（黒）

※カルトン、パネルは不要です。

●面接———①絵画作品50号程度1点（作品の素材・技法は問わない）

②ポートフォリオ———これまでの作品活動歴をA4程度で20～50ページにまとめたもの。

※面接試験に提出・持参する作品等については、必ず本学所定の「提出物作成自己証明書（39ページ）」に記入し、出願書類に同封してください。

提出作品について

提出作品は基本的に当日持参が望ましいですが、事前送付の受付も可能です。

事前送付の場合

〒192-0394東京都八王子市鎌水2-1723 多摩美術大学 絵画北棟2階 日本画研究室 宛

11月19日(水)もしくは20日(木)の13:00～16:00必着

※事前に研究室へ連絡してください。連絡先042-679-5619 (対応時間13:00～16:00)

※作品の開梱は面接試験当日に受験生自身が行ってください。

当日持参の場合

当日は自家用車の大学内入構は不可です。業者へ依頼する場合は大学内での受け取りが可能ですが、受け渡し方法や時間など受験生自身で手配してください。

搬出について

面接試験終了後、17:00までに行ってください。

選考方法

下記科目等に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

『ポートフォリオ、作品』『水彩（人物）』『面接』

採点基準

入学試験科目等	採点基準
ポートフォリオ・作品	・ 普段の活動歴 ・ 柔軟な発想力・表現力
水彩（人物）	・ 観察力・描写力・色彩感覚・構成力
面接	・ 制作意欲等

学科・専攻の特色

本学版画専攻では、日本の版画教育の先駆けとして数多くの版画家、美術家、デザイナーたちを輩出し、「多摩美の版画」としての独自の教育を行ってきました。今日では伝統的な版画に留まらず、写真、CGなどの新しい版画表現へとその教育研究領域を拡張、版画教育の先鋭的な拠点として位置し続けています。

版画専攻では、今日の多種多様な版画表現を研究するための3つの学びが設定されています。1つ目は木版、銅版、リトグラフ、シルクスクリーンなど、東西で長い歴史をもつ伝統的な版画技法の研究、2つ目は写真、CGなどデジタルを中心とする版画や、版から展開される多様な表現（ミクスト・メディア、インスタレーション）などの先端的な表現の研究、そして3つ目は絵本、写真集などのブックアートや、グラフィックアート、イラストレーションなどを対象にした版画からデザインへの展開研究です。伝統と先端、アートとデザインの幅の広い領域を横断しながら、版画の今日的可能性を追求し、独自の視点で思考できる人の育成をめざしています。

選抜方針

総合型選抜では、一般選抜で評価しきれない「能動性」「広い視野と個性」をもった意欲的な人を求めます。新しい表現と出会いたいと思うこと、自分から動こうとする力が自立した表現者としての道筋になると考えています。そして作品と向き合っていくなかで培われていく思考力や持続力が自らの社会性を養うこととなります。さらに、高等学校等とも教育的な連携を進めながら、真摯な姿勢で制作と向き合う個性豊かな人材の発掘をめざしています。

総合型選抜では、選択科目A／B、面接、小論文の3つを総合的に審査します。選択科目では、授業で求められる色彩構成力、発想力、表現力を評価する選択Aの科目「色彩表現」とともに、多様な版画技法の一つである写真表現にかかわる力を評価する選択Bの科目「コラージュ『写真』」が設定されています。選択Bの科目「コラージュ『写真』」は、これまでの描画を中心とする造形表現とは異質の造形感覚を評価する課題で、写真を選択する感覚や、選択された写真から発想する力、それら写真を編集する力、そして画面に構成する力などを採点対象としています。

「面接」では、これまで制作した提出作品を前に何を考えて制作し、大学入学後どのような研究を行いたいのかを面談し、それを評価します。「小論文」では、大学における教養教育を修得するうえで必要な基礎力を幅広く有しているか、自身の考えを的確に文章として述べているか、版画に対する興味、関心の高さがテーマ設定、文脈からうかがえるかなどを評価していきます。

高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

美術館や博物館などに行き、多くの作品や作家に出会い、触れ合う機会をもつことを望みます。そして、ただ漠然と見るのではなく、どんな作品が好きか、美術の歴史はどのようなのだろうか、どのような作家に興味をいだくかなど、問題意識をもって作品と向かい合い、自らの思考を深めてほしいと考えます。多くの作品を鑑賞することで“観る”力も備わってきます。そして、自分の言葉で人に伝えることを心がけてください。作品を読み解く力、考えを伝える力は、表現者としての基盤となっていきます。

学科・専攻別試験内容／絵画学科版画専攻

入学試験日程・科目（絵画学科版画専攻は出願時にABいずれかを選択）

■選択A	日時	試験科目	時間
	11月22日（土）	小論文 色彩表現	10:00～11:30 [90分] 13:00～17:00 [4時間]
	11月23日（日）	面接	時間は試験初日に指示
■選択B	日時	試験科目	時間
	11月22日（土）	小論文 コラージュ「写真」	10:00～11:30 [90分] 13:00～17:00 [4時間]
	11月23日（日）	面接	時間は試験初日に指示

11月22日（土）の11:30～13:00は昼食休み時間。必ず昼食を持参してください。

試験科目・持参するもの

- 選択A・B ●小論文——— 鉛筆（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り
 ●面接——— 作品（デッサン、油彩、水彩、ドローイング、版画、デジタルプリント、立体、コラージュ、写真など自由です）作品サイズは面接当日に持参できる大きさとし、点数は5点以上10点以内（ただし、連作は1点扱いとしても構いません）。ドローイングブック、写真集、ないしはアートブックなども、作品の1点としても提出することが可能です。
 ※面接試験に提出・持参する作品等については、必ず本学所定の「提出物作成自己証明書（40ページ）」に記入し、出願書類に同封してください。
- 選択A ●色彩表現——— 水彩絵具（透明、不透明共に可）、色鉛筆、筆、筆洗、ぞうきん、パレット、絵具皿、カッターナイフ、はさみ、鉛筆、消しゴム、羽ばうき、直定規（60cmまで）、三角定規（30cm程度まで）、コンパス、烏口、溝引き用ガラス棒、マスキングテープ、受験番号・氏名記入用ボールペン（黒）
- 選択B ●コラージュ「写真」——— ハサミ、カッターナイフ、糊（スティック糊、ペーパーセメントなど）、鉛筆（HB）、消しゴム、直定規（60cmまで）、三角定規（30cmまで）、コンパス、受験番号・氏名記入用ボールペン（黒）
 ※選択A・Bともにカルトン、パネルは不要です。イラストボード（B3サイズ）は大学で用意します。

選考方法

下記科目に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

- 選択A 『小論文』『色彩表現』『面接・ポートフォリオ』 ■選択B 『小論文』『コラージュ「写真」』『面接・ポートフォリオ』

採点基準

入学試験科目等	採点基準
小論文	<ul style="list-style-type: none"> ・文の構成が整っており、考えを的確にまとめ、小論文の体裁が整っているか ・版画に対する興味・関心の高さをテーマ設定、文脈から読み取ることができるか ・大学における教養教育を修得するうえで基礎的な能力を幅広く有しているか ・出題に対して真摯に向き合っているか ・独創的で創造性にあふれているか
■選択A 色彩表現	<ul style="list-style-type: none"> ・理解力=出題内容をしっかりと理解し、積極的に取り組んでいるか ・発想力=出題から造形化されるアイデアが優れているか ・表現力=アイデアをより効果的に造形化する力があるか ・完成度=造形的に充実し、説得力のある表現になっているか ・独創性=独自の視点、感覚をもっているか
■選択B コラージュ「写真」	<ul style="list-style-type: none"> ・映像感覚=写真イメージに対してどのようにアプローチしているか ・編集力=写真を選択し、組み合わせ、編集する力があるか ・構想力=作品のテーマ、コンセプトを構想する力があるか ・独創性=独自の視点、感覚をもっているか ・完成度=コラージュとしての完成度があるか
面接	<ul style="list-style-type: none"> ・理解力=質問の意味を理解し、的確に返答できるか ・意欲・積極性=志望動機は明確であるか、学業や制作に意欲があるか ・プレゼン力=持参した作品を基に自身の考えを明確に述べられるか、説得力をもっているか ・計画力=入学後の研究に展望をもち、その実現に何が必要かを把握する力があるか

学科・専攻の特色

彫刻芸術は人類の歴史のなかでもっとも古い芸術のひとつであり現在もなお、私たちの遺伝子に脈々と引き継がれた美的表現のひとつとして、文明を多彩に彩っています。その彫刻をひとことで表現すれば「存在の芸術」と言えます。なぜならば、彫刻の材料となるさまざまな物質には宇宙の記憶が、そしてそれを加工する技術には人類の記憶が含まれているのです。よって現代において彫刻を創造することは、あらゆる文化や歴史に触れながら自らの意志を「かたち」に現す芸術と言えるからです。

彫刻芸術の概念は今も求心と拡張を繰り返しながら、さらなる可能性を求めて進化し続けています。そのなかで、私たちは世界に誇る特異で奇抜な伝統的美学を受け継いでいますが、この貴重な文化遺産を礎として、新たな彫刻表現の可能性を模索し世界に発信していかなければなりません。

彫刻学科では伝統と革新を対立項と見なさず、過去に学び未来を創造する我が国独自の芸術家の育成をめざしています。国内外でもトップクラスの設備を備え、塑造・木彫・石彫・金属・ミクストメディアの各領域における専門工房には経験豊かな教員が配属され伝統的な手法から拡張を続ける現代美術まで、基礎課程から学ぶことができます。そして専門課程では、学生自らがめざす領域を自由に選択しながら個々のもつ能力を最大限に発揮できる制作環境を整えています。

「彫刻を学ぶことはすべてを学ぶこと」です。本学科で培ったさまざまな経験は芸術家として、またいろいろな進路の礎となり社会に貢献できることでしょう。

選抜方針

彫刻概念が拡張を続ける現代において、大学入試も変えるべきものと、変えてはならないものがあると考えます。変えるべきものとは、相対的で多様な個性を画一的な基準ではかること。そして、変えてはならないものとは、創造する強い意欲と真摯な眼差しを汲み取る目です。よって実技試験「立体造形」では、多様な解釈と自由な表現が可能な課題を課します。さらにこれまでの学びや制作活動が反映された「ポートフォリオ」と「小論文」「面接」によって受験生個々のもつ可能性と意欲を多角的に評価し選抜します。

高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

彫刻芸術の概念は進化し続けています。使用される素材も多様化し、身の回りにある物質すべてが彫刻の素材になるといっても過言ではありません。なぜならば、彫刻芸術は絵画芸術とは異なり、日々私たちが生活する時空間上に展開される表現だからです。木や土、石や鉄などの自然素材から現代社会におけるさまざまなメディアとも関わりながら「現在」を表現し、進化を続けている芸術なのです。よって、彫刻学科をめざす人は新たな視点で世界を見つめることが大切です。もちろん、デッサンや塑造など、時代を超えて普遍的な基礎訓練は必要ですが、何よりも今、自分にとって関心のあることをとことん探究することが、美術に対する固定概念を解放し、個性的な発想を導き、未来の「美」の扉を開くことにつながるでしょう。

学科・専攻別試験内容／彫刻学科

入学試験日程・科目

日時	試験科目	時間
11月22日（土）	小論文	10:00～11:30 [90分]
	小論文	10:00～11:30 [90分]
	立体造形	13:00～16:00 [3時間]
11月23日（日）	面接	時間は試験初日に指示

11月22日（土）の小論文・立体造形を選択した場合、11:30～13:00は昼食休み時間。必ず昼食を持参してください。

試験科目・持参するもの

●小論文——鉛筆（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り

●立体造形——受験番号・氏名記入用ボールペン（黒）

※立体造形の用具は大学で用意します。

●面接

選考方法

下記科目に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

『小論文』『立体造形』『面接、ポートフォリオ』

採点基準

入学試験科目等	採点基準
小論文	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文の構成が整っており、考えを的確にまとめ、小論文の体裁が整っているか ・ 彫刻に対する興味・関心の高さをテーマ設定、文脈から読み取ることができるか ・ 大学における教養教育を修得するうえで基礎的な能力を幅広く有しているか ・ 出題に対して真摯に向き合っているか ・ 独創的で創造性にあふれているか
立体造形	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柔軟な発想ができているか ・ 創造性にあふれ、可能性が感じられるか ・ 常識にこだわらない自由さがあるか ・ 新鮮な感覚・感性を持っているか ・ 個性的な洞察力を持っているか ・ 好奇心と探究心に満ちているか
面接・ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学への進学目的が明確か ・ 独自の研究テーマを持っているか ・ 具体的な志望研究領域があるか ・ 将来、作家になる意欲を強く持っているか ・ 自分の意思を明瞭に述べられるか

学科・専攻の特色

工芸学科は、人類がモノを作り続けてきた営みとともに、常に私たちのそばにある「陶、ガラス、金属」を扱う3つのプログラムによって構成されています。人類がモノを作り始めたときから今も続く工芸には、普遍的な現在性があると言って良いでしょう。本学科は、造形作家のみならず、教育研究者やデザイナー、商品企画をはじめとするさまざまな創造の現場で活躍する人材を多く輩出しています。

総合型選抜入学者は1年次すべてのプログラムを体験し、それをふまえ2年次より選択したプログラムで学びます。

選抜方針

総合型選抜では、モノを作る意思の強い人、作ることを楽しく持続できる力のある人、そして多摩美の工芸学科の特色を理解して志望の動機が明確な人物を求めて、選択科目A/B、小論文、面接試験の3つで総合的に審査します。

まず選択科目では、A「鉛筆デッサン」B「立体造形」のどちらかを選んで受験してもらいます。選択科目A「鉛筆デッサン」では描写力の練磨、つまり対象を正確に観察する力とそれを平面で描写して表現するデッサン力を見ます。

また、選択科目B「立体造形」では、材料の特質を自分なりに感じ取って利用し、道具を使わずに手と材料との関わりを重ねて造形してもらいます。手仕事の量や作品のスケールなど、モノを作る作業や取り組み方から作り手としてのエネルギーや作る意欲の強さを注視します。（試験時間内で制作物についてコメントを書いて自らの制作への取り組みを分析してもらいます。）

「小論文」では自分の考えを的確に文章化し伝える力を、そして「面接」では制作への取り組みを分析し話してもらうことで、大学での授業に応じる分析力を測ります。

高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

「モノをつくる力」「モノで表現する力」には強い意志が必要です。それを支えるのは、あらゆる事柄に興味をもって接し、自ら取り組むべき課題を見極めようとする姿勢です。もちろんそのなかには、造形の基礎である物を描くデッサンのトレーニングによる技の蓄積か、手と材料との対話からモノ作りを展開し最後まで完遂させるモノ作りの体力が求められます。他には小論文の基本にもなる、自身の視点で物事を眺め、自身の言葉で表現し伝える努力もしてほしいと考えます。

学科・専攻別試験内容／工芸学科

入学試験日程・科目（工芸学科は出願時にA Bいずれかを選択）

選択A	日時	試験科目	時間
	11月22日（土）	小論文 鉛筆デッサン	10:00～11:30 [90分] 13:00～17:00 [4時間]
	11月23日（日）	面接	時間は試験初日に指示
選択B	日時	試験科目	時間
	11月22日（土）	小論文 立体造形	10:00～11:30 [90分] 13:00～17:00 [4時間]
	11月23日（日）	面接	時間は試験初日に指示

11月22日（土）の11:30～13:00は昼食休み時間。必ず昼食を持参してください。

試験科目・持参するもの

- 選択A・B** ●小論文 ———— 鉛筆（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り
 ●面接 ———— ポートフォリオ（必ず作品の写真を入れること）
 ・ポートフォリオはこれまでに制作した作品の写真、活動記録などをA4サイズのファイルにまとめたもの。
- 選択A** ●鉛筆デッサン ———— 鉛筆デッサン用具一式、フィキサチフ（定着液）、受験番号・氏名記入用ボールペン（黒）
 ※カルトン、パネルは不要です。
- 選択B** ●立体造形 ———— 鉛筆（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り
 ※下敷き、ペンの使用は認めません。

選考方法

下記科目等に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

- 選択A** 『小論文』『鉛筆デッサン』『面接』『ポートフォリオ』
 選択B 『小論文』『立体造形』『面接』『ポートフォリオ』

採点基準

選択A	入学試験科目等	採点基準
	小論文	<ul style="list-style-type: none"> 文の構成が整っており、考えを的確にまとめ、小論文の体裁が整っているか 工芸に対する興味・関心の高さをテーマ設定、文脈から読み取ることができるか 大学における教養教育を修得するうえで基礎的な能力を幅広く有しているか 出題に対して真摯に向き合っているか 独創的で創造性にあふれているか
	鉛筆デッサン	<ul style="list-style-type: none"> 理解力＝問題内容の理解が正しいか 描写力＝構図、立体認識ができていているか 観察力＝物質感を的確に表現できているか 空間把握＝物と物の位置関係が的確か 個性＝独自の表現性のあるデッサンか
	面接	<ul style="list-style-type: none"> 学科の特色への理解 志望動機が明確であるか 自分の考えで語れるか 学業への熱意 質問についての理解と、返答の的確さ
選択B	入学試験科目等	採点基準
	小論文	<ul style="list-style-type: none"> 文の構成が整っており、考えを的確にまとめ、小論文の体裁が整っているか 工芸に対する興味・関心の高さをテーマ設定、文脈から読み取ることができるか 大学における教養教育を修得するうえで基礎的な能力を幅広く有しているか 出題に対して真摯に向き合っているか 独創的で創造性にあふれているか
	立体造形	<ul style="list-style-type: none"> 取り組み方＝「手で作る力」の持続力と作業量 材料の利用＝材料の特性を利用した加工と工夫 独自の構想＝生き生きとした自由な発想力 エネルギー＝材料を充分に使って作る意欲・作品のスケール感 分析力＝制作を振り返り言葉で表す力
	面接	<ul style="list-style-type: none"> 学科の特色への理解 志望動機が明確であるか 自分の考えで語れるか 学業への熱意 質問についての理解と、返答の的確さ

学科・専攻の特色

テキスタイルとは「布」全般のことをさします。「布」は人々の生活に必要不可欠なものです。テキスタイルデザイン専攻では、人々の暮らしを豊かに彩る「布」のデザインを学び、グローバルに活躍する人材育成を目指しています。

テキスタイルデザインを学んだ多くの卒業生が、インテリア産業、アパレル産業、地場産業、舞台芸術、現代美術などの分野で活躍しています。本専攻の学びの特色は、繊維素材から一本の糸をつくることからはじめ織る・染める・編む・組む・プリントするなどの技術を身につけ、テキスタイルをデザインすることです。そして「インテリアテキスタイル」「ファッションテキスタイル」「テキスタイルアート」の3つのスタジオにわかれ、少人数で専門領域を探究することができます。

選抜方針

総合型選抜では、本専攻の特色から世界にむけた日本の地域繊維産業に貢献する意欲や、染織文化を継承することに関心があり、テキスタイルデザインの新たな領域を開拓しようとする強い意志のある人を求めます。専門技術は大学入学後に学ぶことを前提として、基礎的な造形力、独創的な発想力、主体的に行動する活力を有しているかを総合的に評価します。

選択Aでは「小論文A」「実技試験」「面接」と「持参作品」から総合的に判断し選抜を行います。「小論文A」では高等学校等までの学びや経験に基づき独創的な思考をもち、創造性にあふれる論旨を展開できているかを判断します。「実技試験」の「デッサン・色彩表現」では、観察描写力と色彩感覚がバランスよく備わっているかを評価します。「持参作品」からは独自の造形表現力、制作への熱意や実行力、「面接」では自分の考えを言語化できる能力とコミュニケーション能力をはかります。

選択Bでは「小論文B」と「プレゼンテーション面接」から総合的に判断し選抜を行います。「小論文B」ではテキスタイル分野に関する課題を提起し、独創的な解決の提案を明快な文章表現で論述できているかを判断します。「プレゼンテーション面接」では、小論文Bで論述した内容を口頭で言語化できる能力と社会性の高さやコミュニケーション能力をはかります。

高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

高等学校等の授業では、美術以外のさまざまな科目に広く関心を持ち意欲的に学びましょう。授業だけでなく興味をもったことを深く探求し知見を得ることが大切です。デザインやアートについても造形的な側面に注目するだけでなく、社会の中でどのような役割を果たしているかを考えてみましょう。デザインもアートも人のためのものです。人との対話を大切にコミュニケーションする力を身につけてください。そして主体的に行動し経験を積み重ねましょう。未来を切り開く基礎力が培われます。

学科・専攻別試験内容／生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻

入学試験日程・科目（生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻は出願時にA Bいずれかを選択）

選択A	日時	試験科目	時間
	11月22日（土）	小論文A[テキスタイルデザイン専攻専門試験] ^{※1} デッサン・色彩表現	10:00～11:00 [60分] 12:00～17:00 [5時間]
	11月23日（日）	面接 ^{※2}	時間は試験初日に指示

※1 小論文：日本語または英語で解答することができる。解答語種は試験当日に選択する。

※2 面接：持参作品を提示して日本語でおこなう。

11月22日（土）の11:00～12:00は昼食休み時間。必ず昼食を持参してください。

選択B	日時	試験科目	時間
	11月22日（土）	小論文B[テキスタイルデザイン専攻専門試験] ^{※3}	12:00～13:30 [90分]
	11月23日（日）	プレゼンテーション面接 ^{※4}	時間は試験初日に指示

※3 小論文：日本語で解答すること。

※4 プレゼンテーション面接：「小論文B」で解答したものを日本語で説明・アピールする。

11月22日（土）の12:00からの試験前に必ず昼食を済ませておいてください。

試験科目・持参するもの

選択A	
●小論文A [テキスタイルデザイン専攻専門試験]	鉛筆（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り
●デッサン・色彩表現	鉛筆デッサン用具一式、水彩用具一式、三角定規、物差し、受験番号・氏名記入用ボールペン（黒） ※カルトン、パネルは不要です。
●面接	作品3点（過去3年間に制作した作品。平面、立体は問わない。本人が持参できる大きさのもの） ※面接試験に提出・持参する作品等については、必ず本学所定の「提出物作成自己証明書（42ページ）」に記入し、出願書類に同封してください。

選択B	
●小論文B [テキスタイルデザイン専攻専門試験]	鉛筆（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り
●プレゼンテーション面接	

選考方法

下記科目等出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

選択A	『小論文A』『デッサン・色彩表現』『面接』	選択B	『小論文B』『プレゼンテーション面接』
-----	-----------------------	-----	---------------------

採点基準

入学試験科目等	採点基準
小論文 [テキスタイルデザイン専攻専門試験]	・ 高等学校等での学びや経験に基づき独創的な思考をもち創造性にあふれる論旨が展開されているか。 ・ 文の構成が整っており、考えを的確にまとめられているか。 ・ 誤字脱字、誤用がなく内容に即した明快な文章表現ができているか。 ・ 大学における教養教育を修得する上で基本的な能力を幅広く有しているか。
デッサン・色彩表現	・ 理解力＝出題の意図を把握し理解しているか ・ 独創性＝独自の創造性を感じられるか ・ 描写力＝対象を的確・丁寧に描けているか ・ 色彩感覚＝優れた色彩感覚を有しているか
面接	・ 持参した作品に関する説明を的確に行うことができるか。 ・ 本専攻での修学の意志と展望を述べることができるか。 ・ 自己分析をもとに自身について口頭で主張できるコミュニケーション能力があるか。 ・ 入学後の順応性と自律性をそなえているか。

入学試験科目等	採点基準
小論文 [テキスタイルデザイン専攻専門試験]	・ テキスタイル分野における課題提起を行い、独自の提案を論述できているか。 ・ 現在までの経験に基づき独創的な思考をもち創造性にあふれる論旨が展開されているか。 ・ 文の構成が整っており、考えを的確にまとめられているか。 ・ 誤字脱字、誤用がなく内容に即した明快な文章表現ができているか。 ・ 大学における教養教育を修得する上で基本的な能力を幅広く有しているか。
プレゼンテーション面接	・ 小論文Bで述べた内容を口頭でプレゼンテーションできるコミュニケーション能力があるか。 ・ 本専攻での修学の意志と展望を述べることができるか。 ・ 現在までの経験を大学での学びに反映し発展させることができるか。 ・ 入学後の順応性と自律性をそなえているか。 ・ 次世代のクリエイターとしてテキスタイル業界を牽引する意欲があるか。

学科・専攻の特色

現代ではインターネットやスマートフォンの普及にともなって、デジタルメディアを活用した作品作りを行う、映像メディア表現の領域は、広く浸透しつつあります。情報デザイン学科メディア芸術コースは、メディア・アート、映像、アニメーション、写真、デジタル・エンターテインメントなど、メディアを使った幅広い表現領域をカバーし、モノと情報が結びついた新しい「かたち」を生み出すために、常に未知の表現に向かって創作と探求を続けています。

選抜方針

メディア芸術コースでは、ネットワークやプログラミングなどを通じて、デジタルメディア表現で、新しい美術の領域を開拓する造形力と、さまざまなメディアを縦横無尽に使いこなしていく多様な人材を育成しています。

総合型選抜では、このようなメディア芸術コースのビジョンや理念を共有し、新たなデジタルテクノロジーの手法と、表現する意欲をもった受験生を幅広く求めています。

選択Aの「オンラインポートフォリオ」ではメディアを活用したさまざまな領域の作品を募集します。メディアへの応用能力、技術能力などの面を見ながら、自立した表現作品としてのクオリティやコンセプトの実現性を評価します。

「面接」においては、「オンラインポートフォリオ」で示される各自の作品制作コンセプトを、プレゼンテーションしてもらい、ディスカッションをして総合的に評価します。

選択Bの「デジタル視覚表現」では、与えられたモチーフに対してタブレットPCのカメラ機能で、人間の眼を超えた視覚の可能性を探っていきます。さらにそのデータを編集・再構成する作業を通じて知覚や道具の拡張としてメディアの感覚を見出すことができたか、新しい表現の提案を示すことができたかを問います。

「面接」は「デジタル視覚表現」作品の制作意図を確認し、志望理由とあわせて総合的に選抜します。

高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

高等学校等の「情報」で学ぶ、インターネットやデジタルメディアの基礎知識を習得していることを前提として、プログラミングや電子工作などの技法の学習、電子出版といったデジタル文化の体験などを通じて、デジタルメディアについての考察を巡らせる時間をもつことを推奨します。

情報デザイン学科の総合型選抜では、高校卒業見込み者はもちろん、高等専門学校や他大学の新卒者、既卒者、また社会人まで広く募集したいと考えています。

学科・専攻別試験内容／情報デザイン学科（メディア芸術コース）

入学試験日程・科目（情報デザイン学科メディア芸術コースは出願時にA Bいずれかを選択）

■選択A	日時	試験科目	時間
	11月23日（日）	面接	時間は受験票印刷開始日に指示
■選択B	日時	試験科目	時間
	11月22日（土）	デジタル視覚表現	10:00～16:00（5時間）
	11月23日（日）	面接	時間は試験初日に指示

11月22日（土）の12:00～13:00は昼食休み時間。必ず昼食を持参してください。

試験科目・持参するもの

- 選択A ●面接 ———— オンラインポートフォリオ
メディア・アート、映像、アニメーション、写真、デジタル・エンターテインメントなど、メディアを使った領域の作品を、WEB形式で閲覧できるようにプレゼンテーション用にまとめられたもの。（ポートフォリオの参考資料として面接時に作品の持参も可、ただし設置や準備に時間を要するものは不可）
（注意）外部ディスプレイに接続するためのコンピュータやタブレット端末と、HDMI出力が可能なディスプレイアダプタを必ず持参してください。無線または有線でのインターネット接続が可能です。何らかの理由で接続ができないときのために、インターネットに接続しなくてもプレゼンテーションができるように準備してください。

- 選択B ●デジタル視覚表現 ———— 筆記用具一式、カメラ付きタブレットPC
（スタイラスペン・充電機器・SDカードリーダーなどの周辺機器を含む）
※画像編集用のアプリケーションを事前にインストールしておくこと。
※完成した作品データと途中経過のデータを回収し提出とします。
※具体的な内容については下記のURLを参照してください。
<http://www.idd.tamabi.ac.jp/art/site/entrance/nyushi/>

●面接

選考方法

下記科目等に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

■選択A	『オンラインポートフォリオ』『面接』
■選択B	『デジタル視覚表現』『面接』

採点基準

入学試験科目等	採点基準
オンライン ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> ・リサーチ＝制作に関する調査研究が十分になされているか ・コンセプト＝制作に関する思考力が十分か ・テクノロジー＝制作の道具と方法に工夫がなされているか ・エステティック＝制作物の美しさや表現力があるか ・ソーシャル＝制作物の発信と共有に関する知見があるか（ポートフォリオの共有や動画サイトなどの利用を含めたりテラシー）
面接	<ul style="list-style-type: none"> ・志望理由と入学後のプラン ・学科、コースに関する理解 ・制作に対する考え方 ・制作のための技術 ・人や社会に関するビジョン
入学試験科目等	採点基準
デジタル視覚表現	<ul style="list-style-type: none"> ・モチーフへの観察力 ・事象としてとらえる分析能力 ・メディア機器の特性に対する理解力 ・メディアオペレーションの工夫や発想力 ・画面における構成力
面接	<ul style="list-style-type: none"> ・実技作品制作に対する取り組みの意図 ・作品説明にともなうプレゼンテーション能力 ・志望理由と入学後のプラン ・学科、コースに関する理解度 ・人や社会に対するビジョン

学科・専攻の特色

情報デザイン学科情報デザインコースでは、社会学、認知科学、哲学といった他分野の知識を動員しつつ、インターネットを含むあらゆるメディアを使って、まだ使い方が定まっていない最先端技術にチャレンジし、社会のあらゆるヒト・モノ・コトの結びつきをより楽しく豊かにしていくことを目指しています。従来の平面や立体といったカテゴリーを越えた多様な作品が、情報デザインコースから産まれています。

選抜方針

総合型選抜では、情報デザイン学科のビジョンや理念を共有し、日常的にデジタルメディアに接し、ネットワークやプログラミングを通じてさまざまなメディアを縦横無尽に使いこなしていく、新たなスキルと表現する意欲をもった人を求めます。

情報デザインコースは、一般選抜の一般方式の実技試験では造形力や構成力、発想力に重点をおいて判定し、共通テスト併用方式ではそれに加えて一般的な学力も大切な判定材料としてきました。今回の総合型選抜は、その一般選抜の2つの方式では判定しきれなかった、本学科の主な領域のひとつである「デジタル技術を用いたデザイン」に、関心や実績のある学生の発掘を目的としています。

デジタルメディア文化の成熟とともに新しく誕生したデザインの領域をさらに開拓していく才能の発見に重点をおいて、「作品あるいはポートフォリオ」で制作力や編集力を評価し、「面接」において自らの考えを述べる力としてのプレゼンテーション能力をはかり、それらを総合的に判断することで選抜します。

高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

高等学校等の「情報」で学ぶ、インターネットやデジタルメディアの基礎知識を習得していることを前提として、プログラミングや電子工作などの技法の学習、電子出版といったデジタル文化の体験などを通じて、デジタルメディアについての考察を巡らせる時間をもつことを推奨します。

情報デザイン学科の総合型選抜では、高校卒業見込み者はもちろん、高等専門学校や他大学の新卒者、既卒者、また社会人まで広く募集したいと考えています。

学科・専攻別試験内容／情報デザイン学科（情報デザインコース）

入学試験日程・科目

日時	試験科目	時間
11月23日（日）	面接	10：00～

試験科目・持参するもの

- 面接———3～5点の作品（インタラクティブコンテンツ、ゲーム、プログラムコードで書いたグラフィックスやサウンドなど）あるいはポートフォリオ（5点以上の作品がウェブページ、電子ブック、アプリケーションなどにまとめられたもの）

（注意）作品などをプロジェクターで投影して作品を説明しながら面接を行います。作品やポートフォリオを閲覧するためのPCあるいはスマートフォンやタブレットなどと接続に必要なHDMIディスプレイアダプターを持参してください（無線または有線でのインターネット接続可。ただし何らかの理由で接続できないときのためにデータを持参するなど各自準備してください）。

※面接試験に提出・持参する作品等については、オンラインポートフォリオURL提出フォームに作品情報を入力してください。

選考方法

下記科目等に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

『作品あるいはポートフォリオ』『面接』

採点基準

入学試験科目等	採点基準
作品 あるいは ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> ・リサーチ＝制作に関する調査研究が十分になされているか ・コンセプト＝制作に関する思考力が十分か ・テクノロジー＝制作の道具と方法に工夫がなされているか ・エステティック＝制作物の美しさや表現力があるか ・ソーシャル＝制作物の発信と共有に関する知見があるか（ポートフォリオや動画などのネット共有も含めたりテラシー）
面接	<ul style="list-style-type: none"> ・志望理由と入学後のプラン ・学科、コースに関する理解 ・制作に対する考え方 ・制作のための技術 ・人や社会に関するビジョン

学科・専攻の特色

演劇舞踊デザイン学科は、上演芸術を支える感性豊かな身体表現者、演出家、振付家、劇作家等、また創意豊かな演出空間を創造するデザイナー、製作者等を育成することを目的とした学科です。

演劇舞踊デザイン学科には、＜演劇舞踊コース＞と＜劇場美術デザインコース＞があります。コースごとの専門性を深めると同時に、交差し合いながら上演芸術を学びます。美意識ある俳優、ダンサー、演出家、劇作家、舞台美術家等を将来像とし、上演芸術を総合芸術として捉え、誰も見たことのないオリジナリティ溢れる創作を追求します。授業は、イメージ豊かな表現力や造形力を修得する徹底した実践性に重きをおき、表現者たることの畏れと、これからの文化の担い手たることの責任を自覚することを促します。上演芸術界の第一線で活躍する教員が、これからの上演芸術を切り開いていく豊かな人材を育成します。

演劇舞踊コース－Drama & Dance Course

身体表現者・演出家・劇作家など、上演芸術を支える独創的な人材を育成

身体表現についての実践や思索を深化させ続けていくことが、創造に携わる人間としての礎です。導入教育では「演劇」「舞踊」を横断的に学ぶことを通じて、個々の身体特性を知覚し、身体にまつわる基礎的な表現力を習得します。美大ならではの造形演習も、身体表現に必要な発想力を深めます。3年次以降は、「演劇」「舞踊」「劇作」「演出」等の専門性を用い、劇場美術デザインコースとのコラボレーションを通じて創作力を磨きます。

俳優、ダンサー、演出家、振付家、劇作家などの道に進む卒業生を輩出しています。

選抜方針

演劇舞踊デザイン学科の教育方針に賛同し、新しい上演芸術を創造する意欲と個性にあふれた人を求めます。

「演劇舞踊コース」では、身体表現能力の素地があるかどうかを重視します。実技試験「身体表現」で、身体を意識して動かすことができているか、音楽やリズムを体で感じて踊ることができるか、即興的な表現力があるか、他者との関係性を柔軟に作れるか、動き回っても声量を保つことができているかを見ます。「面接」で、上演芸術に対する興味と関心、理解や熱意などを見ます。「小論文」においては文章表現能力も判断します。ただし、それぞれの受験科目のうち一定の点数に及ばない科目があれば、総合点が高くても合格できない場合があります。

高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

「演劇舞踊コース」「劇場美術デザインコース」どちらを志望するとしても、演劇・舞踊の公演、美術展、音楽会、映画館に積極的に足を運んでさまざまな表現に触れ、感性を豊かにしておくことが重要です。脚本を読み解き、自分の考えを他者に伝える日本語の力を身につけることも必要です。そのためには「国語」に力を入れ、読書を心がけてください。また上演芸術は集団創造の芸術ですから、高等学校等の校内外で他者とコミュニケーションをとりながら活動した体験や、そこで獲得した知識は、入学後も上演実習で大いに助けとなります。クラブ活動、生徒会、ボランティア活動などには積極的に関わってください。

学科・専攻別試験内容／演劇舞踊デザイン学科（演劇舞踊コース）

入学試験日程・科目

日時	試験科目	時間
11月22日（土）	小論文	10:00～11:30 [90分]
	身体表現	13:00～17:00 [4時間]
11月23日（日）	面接	時間は試験初日に指示

11月22日（土）の11:30～13:00は昼食休み時間。必ず昼食を持参してください。

試験科目・持参するもの

- 小論文——鉛筆（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り
- 身体表現——動きやすい服装、動きやすい靴（上履き）、水分補給用の飲み物
- 面接

選考方法

下記科目に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

『小論文』『身体表現』『面接』

採点基準

入学試験科目等	採点基準
小論文	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文の構成が整っており、考えを的確にまとめ、小論文の体裁が整っているか ・ 演劇・舞踊に対する興味・関心の高さをテーマ設定、文脈から読み取ることができるか ・ 大学における教養教育を修得する上で基礎的な能力を幅広く有しているか ・ 出題に対して真摯に向き合っているか ・ 独創的で創造性にあふれているか
身体表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理解力＝課題の内容や意図を正しく受け取ることができるか ・ 意欲性＝個人と集団のいずれにおいても、積極的に課題や創作へ取り組んでいけるか ・ 独創性＝自らの身体を使った表現に独自の創造性が感じられるか ・ 観察力＝相手や自分の身体と言葉の表現に応じてさらなるイメージを発想することができるか ・ 協力性＝異なる環境や立場の相手と助け合い、同じ目標に向かって行動できるか
面接	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上演芸術への理解と情熱 ・ 学科とコースの特色を理解しているか ・ 表現活動歴 ・ 協調性があるか

学科・専攻の特色

演劇舞踊デザイン学科は、上演芸術を支える感性豊かな身体表現者、演出家、振付家、劇作家等、また創意豊かな演出空間を創造するデザイナー、製作者等を育成することを目的とした学科です。

演劇舞踊デザイン学科には、＜演劇舞踊コース＞と＜劇場美術デザインコース＞があります。コースごとの専門性を深めると同時に、交差し合いながら上演芸術を学びます。美意識ある俳優、ダンサー、演出家、劇作家、舞台美術家等を将来像とし、上演芸術を総合芸術として捉え、誰も見たことのないオリジナリティ溢れる創作を追求します。授業は、イメージ豊かな表現力や造形力を修得する徹底した実践性に重きをおき、表現者たることの畏れと、これからの文化の担い手たることの責任を自覚することを促します。上演芸術界の第一線で活躍する教員が、これからの上演芸術を切り開いていく豊かな人材を育成します。

劇場美術デザインコース — Scenography Design Course

舞台美術・照明・衣裳など、上演芸術の視覚演出を担う独創的な人材を育成

実践と理論を両輪とする体験型授業の学びを重ねます。導入教育では造形力とスキルを徹底的に習得することから始め、年次ごとに専門性を高めていきます。演劇舞踊コースとコラボレーションする上演制作実習では実践力を養います。3年次以降のゼミ室には、学生個々の研究デスクが完備しています。デザインワークのみならず、スタッフワークを通じて、上演芸術の総合性を学びます。

舞台美術・映像美術・照明・衣裳のデザイナーや舞台監督などの道に進む卒業生を輩出しています。

選抜方針

演劇舞踊デザイン学科の教育方針に賛同し、新しい上演芸術を創造する意欲と個性にあふれた人を求めます。

「劇場美術デザインコース」では、コミュニケーション能力に優れたリーダーシップを発揮できる人を求めます。劇場美術デザインは、多くのスタッフによる共同作業により成し得る総合芸術です。協調性と独創性のバランス感覚を持つ必要があります。独自の美術表現や活動によって生み出された作品の提示とともに、自分の言葉でデザインコンセプトを伝えられるかが重要です。事前に提出してもらう「ポートフォリオ」「書類」の内容は、時間をかけて審査します。「面接」では、提出「作品」と「ポートフォリオ」のデザインコンセプト説明から、「何を伝えたいのか？」が明確に表現できているかを評価します。また実技試験「鉛筆デッサン」では、デッサン力・創造力・個性に秀でた人を評価します。ユニークな発想や表現力をもっている人のチャレンジを望みます。

高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

「演劇舞踊コース」「劇場美術デザインコース」どちらを志望するとしても、演劇・舞踊の公演、美術展、音楽会、映画館に積極的に足を運んでさまざまな表現に触れ、感性を豊かにしておくことが重要です。脚本を読み解き、自分の考えを他者に伝える日本語の力を身につけることも必要です。そのためには「国語」に力を入れ、読書を心がけてください。また上演芸術は集団創造の芸術ですから、高等学校等の校内外で他者とコミュニケーションをとりながら活動した体験や、そこで獲得した知識は、入学後も上演実習で大いに助けとなります。クラブ活動、生徒会、ボランティア活動などには積極的に関わってください。さらに「劇場美術デザインコース」志望の人は、積極的な作品制作を通して自己表現力を身につけてください。脚本を読み、演出家と打ち合わせを重ね、多くのスタッフに美術イメージを伝える、文章と言葉から造形を紡いでいくことがデザイナーの重要な役割です。具体的には、アイデアをイメージスケッチや模型製作という形で表して、コミュニケーションをとり仕事を進めるためにも、デッサン力と造形力を磨くことが必要です。

学科・専攻別試験内容／演劇舞踊デザイン学科（劇場美術デザインコース）

入学試験日程・科目

日時	試験科目	時間
11月22日（土）	鉛筆デッサン	13:00～16:00 [3時間]
11月23日（日）	面接	時間は試験初日に指示

試験科目・持参するもの

- 鉛筆デッサン ————— 鉛筆デッサン用具一式、フィキサティフ（定着液）、受験番号・氏名記入用ボールペン
※カルトン、パネルは不要です。
- 面接 ————— 作品（内容は自由、自己表現力をアピールするもので、面接時に作品のデザインコンセプトを説明）
※映像作品をプレゼンテーションする場合は、再生機を持参してください。
※面接試験に提出・持参する作品については必ず本学所定の「提出作品作成自己証明書（43ページ）」に記入し、出願書類に同封してください。

選考方法

下記科目に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

『ポートフォリオ、書類』『鉛筆デッサン』『面接』

採点基準

入学試験科目等	採点基準
ポートフォリオ・書類	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎技能を有するか ・自己アピールできる魅力ある内容であるか ・真面目に作品に取り組んでいるか
鉛筆デッサン	<ul style="list-style-type: none"> ・理解力＝問題の把握・理解が適切か ・表現力＝手の表現、光の意識、空間把握ができているか ・描写力＝基本的な表現技術と丁寧な描写力があるか ・独創性＝独自の構図や、創造性が感じられるか ・感性＝柔軟な発想、魅力ある表現、感動させる力があるか
面接	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な表現力が身についているか ・学科の特色を理解しているか ・協調性があるか ・授業への熱意と適応力があるか

入学手続期限

2025年12月15日（月）

期限までに学費などの納入金を振り込み、入学手続書類を郵送（消印有効）してください。

学費

2026年度学費は未定のため、2025年度学費を参考に掲載します。

単位（円）

学科・専攻	納入金 (入学時・9月分納可)			内 訳						
	入学時	9月	合計	学 費					諸 費 用	
				入学金 ※1	授業料	施設費	維持費	実習費	私用材料等一括 納入預り金 ※2	校友会費 ※3
絵画学科日本画専攻	1,196,500	847,500	2,044,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	48,000	89,000	30,000
絵画学科油画専攻	1,117,500	842,500	1,960,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000	15,000	30,000
絵画学科版画専攻	1,164,000	842,500	2,006,500	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000	61,500	30,000
彫刻学科	1,147,000	912,000	2,059,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	63,000	89,000	30,000
工芸学科	1,147,500	847,500	1,995,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	48,000	40,000	30,000
グラフィックデザイン学科	1,102,500	842,500	1,945,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000		30,000
生産デザイン学科 プロダクトデザイン専攻	1,162,500	842,500	2,005,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000	60,000	30,000
生産デザイン学科 テキスタイルデザイン専攻	1,152,500	842,500	1,995,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000	50,000	30,000
建築・環境デザイン学科	1,142,500	842,500	1,985,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000	40,000	30,000
情報デザイン学科	1,102,500	842,500	1,945,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000		30,000
芸術学科	1,117,500	839,500	1,957,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	32,000	18,000	30,000
統合デザイン学科	1,122,500	842,500	1,965,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000	20,000	30,000
演劇舞踊デザイン学科 演劇舞踊コース	1,152,500	842,500	1,995,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000	50,000	30,000
演劇舞踊デザイン学科 劇場美術デザインコース	1,152,500	842,500	1,995,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000	50,000	30,000

※1 入学時のみ

※2 学科・専攻・選択科目により、学費とは別に私的な材料・消耗品・工具・研修ゼミ等に充当する費用を徴収します。

※3 入学時のみ終身会費 30,000円（代理徴収）

次年度以降の学費：

在学中の学費は入学時の額による一定方式です。

減免措置について

災害により被害を受けた方を対象とした学費の減免措置を実施する場合があります。その際は本学WEBサイトに掲載します。

※上記対象以外で実施する場合も、本学WEBサイトにてお知らせします。

入学前プログラム

入学までの準備期間を有効に活用し、専門実技の意欲をより高めるためのプログラムです。これらは入学後の大学生活に対する不安や疑問を緩和することを目的にしています。内容は合格された方に合わせたプログラムになるため、合格発表後にお知らせします。

入学

絵画、彫刻、工芸、グラフィックデザイン、生産デザイン、建築・環境デザイン、情報デザイン、芸術学科は**八王子キャンパス**（東京都八王子市鎌水2-1723）に入学します。

統合デザイン、演劇舞踊デザイン学科は**上野毛キャンパス**（東京都世田谷区上野毛3-15-34）に入学します。

おことわり

1. 入学試験の解答について、所有権は本学に帰属し、解答の返却はしません。
2. 合格者の作品等を以下のように使用することがあります。
 - ・ 本学が発行する資料等に掲載
 - ・ 公に展示
 - ・ 本学のホームページに掲載

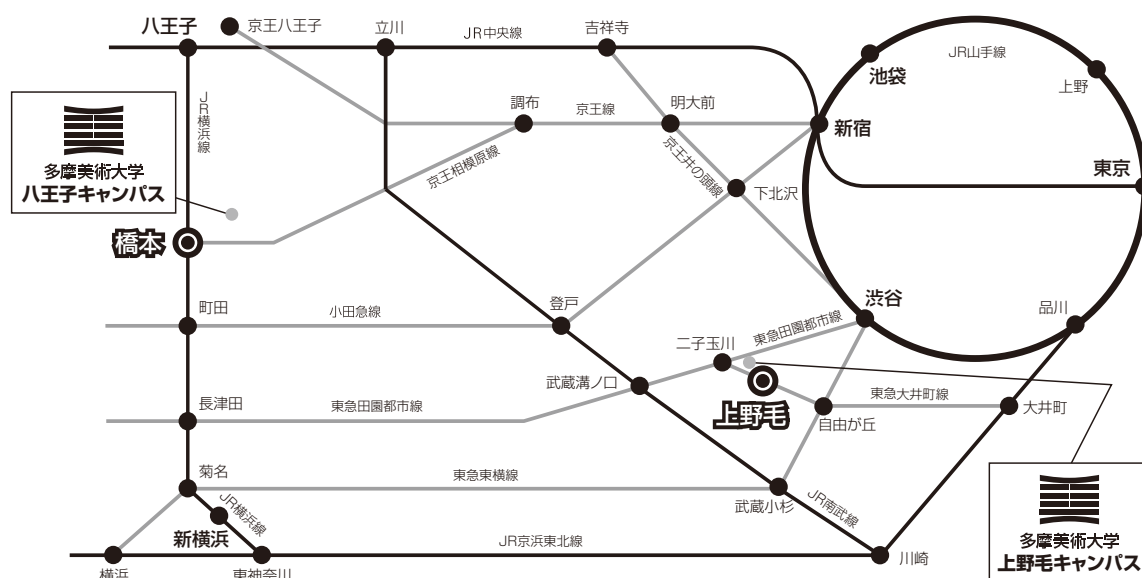
個人情報の取り扱いについて

本学では、2026年度入学試験時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれらに付随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な安全管理を行います。

個人情報の取り扱いについて不明な点等がありましたら入試課までお問い合わせください。

入学試験会場

- ・八王子キャンパス（東京都八王子市鎌水2-1723）実施
絵画学科（日本画専攻・版画専攻）、彫刻学科、工芸学科、生産デザイン学科（テキスタイルデザイン専攻）、情報デザイン学科
- ・上野毛キャンパス（東京都世田谷区上野毛3-15-34）実施
演劇舞踊デザイン学科（演劇舞踊コース・劇場美術デザインコース）



●八王子キャンパス 橋本駅北口6番乗り場より神奈川中央交通バス「多摩美術大学行」で約8分

入試期間中は橋本駅からの路線バスは随時増便・運行されます。バスの円滑な運行のために、あらかじめ小銭やICカード（Suica・PASMO等）を用意し、整列乗車にご協力ください。

●上野毛キャンパス 東急大井町線「上野毛駅」下車、環状8号線沿い（瀬田方面）に徒歩3分

バスダイヤ・乗り場は本学WEBサイトをご確認ください。

※八王子駅から路線バスやタクシーを利用する場合は、国道16号線の道路事情や降雪など不測の事態で遅れることがありますので、十分ご注意ください。

※入学試験期間中、キャンパス内に自動車等車両の乗り入れは一切できません。

路線バス運行・遺失物に関するお問合せ 神奈川中央交通(株) 多摩営業所 Tel.042-678-6550

京王バス南(株) 南大沢営業所 Tel.042-677-1616

各種奨学金制度

学生の就学支援のため、さまざまな奨学金制度を用意しています。本学独自の奨学金はすべて給付型となっています。奨学金制度の詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.tamabi.ac.jp/admissions/scholarships/>

総合型選抜

出願用所定用紙

- ・ 出願用所定用紙は片面A4印刷（カラー推奨）で印刷すること。
- ・ 黒インクまたは黒ボールペンで記入してください。消せる筆記具（鉛筆、フリクションボールなど）で記入しないこと。
- ・ データによる提出はできません。必ず募集要項内の「出願書類」にしたがって郵送すること。

目次

履歴書	35
志望理由書	36
誓約書	38
提出物作成自己証明書※	39
在留資格証貼付用紙	45

※「提出物作成自己証明書」は出願する学科・専攻・コースによって提出の必要があります。

以下のとおり○が付された学科専攻を志望する場合、学科専攻ごとに（資料）（課題）（作品）について記入のうえ、出願書類に同封すること。受験番号は記入不要です。

学科・専攻・コース		提出物（出願時）	面接試験に提出・持参する作品等
絵画学科	日本画専攻	○	○
	版画専攻	○	○
彫刻学科		○	—
工芸学科		—	○
生産デザイン学科	テキスタイルデザイン専攻 （選択Aのみ）	—	○
情報デザイン学科	メディア芸術コース（選択Aのみ）	○	○
	情報デザインコース		
演劇舞踊デザイン学科	演劇舞踊コース	—	—
	劇場美術デザインコース	○	○

履 歴 書

総合型選抜

※大学記入欄

フリガナ			志望学科		専攻 コース	
氏名			版画専攻・工芸学科 テキスタイルデザイン専攻 メディア芸術コースのみ○を付ける		選択科目	A ・ B

●学 歴

中学校卒業以降を記入すること

西暦	年	月	学校 ・ 学部 ・ 学科名
			中学校卒業
			入学／卒業（見込）／その他（ ）
			入学／卒業（見込）／その他（ ）
			入学／卒業（見込）／その他（ ）
			入学／卒業（見込）／その他（ ）
			入学／卒業（見込）／その他（ ）
			入学／卒業（見込）／その他（ ）

●発表活動歴（高等学校等での活動実績）

西暦	年	月	内 容

●受賞・入選等

西暦	年	月	内 容

総合型選抜

※大学記入欄

「志望理由」を記入欄に詳しく記入すること。

1/2

[illegible]

2025年 月

誓 約 書

多摩美術大学
学長 内藤 廣 殿

2026年度 多摩美術大学美術学部総合型選抜出願において、出願学科を専願することを誓います。また、試験に合格し、手続きを経て入学許可を得た後も専願であることを遵守いたします。

志望学科・専攻（コース）

_____学科 _____専攻※
(※専攻名は絵画学科・生産デザイン学科のみ記入)

_____コース※
(※コース名は情報デザイン学科・演劇舞踊デザイン学科のみ記入)

本人住所

氏名

㊞

出身校名

保証人氏名

㊞

(保証人は、父母等とする)

提出物作成自己証明書（出願時に提出）

総合型選抜

フリガナ		
氏 名		
志望学科	絵画学科 日本画 専攻	

※大学記入欄

資料・課題・作品内容

面接試験時 提出物	<p>絵画作品 作品名：_____（サイズ：縦 cm×横 cm）制作年月： 年 月</p> <p>ポートフォリオ（ページ数： _____ ページ）</p>
--------------	---

証明欄

上記のポートフォリオ・絵画作品は、私が作成したものに相違ありません。
これが事実と異なる場合には入学取消等の処分を受けることに異議ありません。

2025年 月 日

氏 名

(印)

注意：「提出物作成自己証明書」は出願書類に同封すること。

：ポートフォリオ、絵画作品（裏面等）には「志望学科」「氏名」を記入すること。

：提出された作品等が、自身の作成したものではないことが判明した場合には、合格後であっても、入学取消等の処分を受けることがあります。

提出物作成自己証明書（出願時に提出）

総合型選抜

フリガナ		
氏 名		※大学記入欄
志望学科	絵画学科 版画 専攻	

資料・課題・作品内容

出願時 提出物	ポートフォリオ、作品写真（5点）
------------	------------------

	作品	作品種類
面接試験時 提出物		

※「作品種類」にはデッサン、油彩、水彩、ドローイング、立体、コラージュ、写真作品などの種類を記入すること。

※作品写真は、持参する提出作品から5点を選び、A4にプリントしたものを提出すること。（A4用紙に1作品、氏名・作品タイトルを記載すること）

証明欄

上記の作品は、私が作成したものに相違ありません。

これが事実と異なる場合には入学取消等の処分を受けることに異議ありません。

2025年 月 日

氏 名



注意：「提出物作成自己証明書」は出願書類に同封すること。

：ポートフォリオ、作品（裏面）には「志望学科」「氏名」を記入すること。

：提出された作品等が、自身の作成したものではないことが判明した場合には、合格後であっても、入学取消等の処分を受けることがあります。

提出物作成自己証明書（出願時に提出）

総合型選抜

フリガナ		
氏 名		
志望学科	彫 刻 学科	

※大学記入欄

試験科目の選択

- ① 小論文、面接
② 小論文、面接、立体造形

受験する科目どちらかを○で囲む

資料・課題・作品内容

出願時 提出物	ポートフォリオ	
	資料形式	A3サイズ以内のファイル1冊
	動画作品 QRコードの有無	有 ・ 無 どちらかを○で囲む

証明欄

上記の作品資料は、私が作成したものに相違ありません。
これが事実と異なる場合には入学取消等の処分を受けることに異議ありません。

2025年 月 日

氏 名

(印)

注意：「提出物作成自己証明書」は出願書類に同封すること。

：ポートフォリオには「志望学科」「氏名」を記入すること。

：本用紙を複数使う際はコピーして使用すること。

：提出された作品等が、自身の作成したものではないことが判明した場合には、合格後であっても、入学取消等の処分を受けることがあります。

提出物作成自己証明書（出願時に提出）

総合型選抜

フリガナ		
氏 名		※大学記入欄
志望学科	工芸学科	

資料・課題・作品内容

面接試験時 提出物	ポートフォリオ（ページ数　；　_____　ページ）
--------------	---------------------------

証明欄

上記のポートフォリオは、私が作成したものに相違ありません。

これが事実と異なる場合には入学取消等の処分を受けることに異議ありません。

2025年 月 日

氏 名 _____ (印)

注意：「提出物作成自己証明書」は出願書類に同封すること。

：ポートフォリオ、絵画作品（裏面等）には「志望学科」「氏名」を記入すること。

：提出された作品等が、自身の作成したものではないことが判明した場合には、合格後であっても、入学取消等の処分を受けることがあります。

提出物作成自己証明書（出願時に提出）

総合型選抜

フリガナ		
氏 名		※大学記入欄
志望学科	生産デザイン学科 テキスタイルデザイン 専攻〔選択Aのみ〕	

資料・課題・作品内容

面接試験時 提出物 (3点)	①	作品 作品名： _____ (サイズ：縦 cm×横 cm×高さ cm) (作品の形式： _____)
	②	作品 作品名： _____ (サイズ：縦 cm×横 cm×高さ cm) (作品の形式： _____)
	③	作品 作品名： _____ (サイズ：縦 cm×横 cm×高さ cm) (作品の形式： _____)

証明欄

上記の作品は、私が作成したものに相違ありません。
これが事実と異なる場合には入学取消等の処分を受けることに異議ありません。

2025年 月 日

氏 名 _____ (印)

注意：「提出物作成自己証明書」は出願書類に同封すること。

：作品には①～③の番号と志望学科、氏名を記入すること。

：提出された作品等が、自身の作成したものではないことが判明した場合には、合格後であっても、入学取消等の処分を受けることがあります。

提出物作成自己証明書（出願時に提出）

総合型選抜

フリガナ		
氏 名		※大学記入欄
志望学科	演劇舞踊デザイン学科（劇場美術デザインコース）	

資料・課題・作品内容

出願時 提出物	ポートフォリオ		
面接試験時 提出物	作品 作品名： _____	縦 横 高さ (サイズ： cm× cm× cm) (作品の形式：)	

証明欄

上記のポートフォリオ・作品は、私が作成したものに相違ありません。 これが事実と異なる場合には入学取消等の処分を受けることに異議ありません。			
2025年	月	日	
氏 名 _____			印

注意：「提出物作成自己証明書」は出願書類に同封すること。
：提出された作品等が、自身の作成したものではないことが判明した場合には、合格後であっても、入学取消等の処分を受けることがあります。

フリガナ			志望学科		専攻 コース	
氏名						

外国籍の者はパスポートの顔写真ページのコピーを切り取り、糊付けで貼付けること。

日本国内に在留している者（永住者または特別永住者を含む）は在留カードの両面コピーを切り取り、貼付けること。

●パスポート顔写真ページ

PASSPORT

この上に貼付けること

●在留カードまたは特別永住者証明書の両面コピー（日本国内に在留の外国籍の者のみ）

在留カード番号を記入すること。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

表 面

在留カード 番号 -----

この上に貼付けること

裏 面

この上に貼付けること

特に記載がなくても貼付けること